

浅川巧生誕 120 年記念

浅川伯教・巧兄弟の心と眼

—朝鮮時代の美

2011. 8. 9 [火] — 10. 2 [日]

プレスリリース



《青花辰砂蓮花文壺》 朝鮮時代・18世紀後半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅英一氏寄贈)

展覧会情報

主催 = 千葉市美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会

特別協力 = 大阪市立東洋陶磁美術館 / 北杜市

協賛 = ライオン / 清水建設 / 大日本印刷 / 損保ジャパン / 日本テレビ放送網

企画協力 = E.M.I. ネットワーク

会期 = 2011年8月9日(火) - 10月2日(日)

休館日 = 第1月曜日 [9月5日]

会場 = 千葉市美術館 8階展示室

開館時間 = 10:00 - 18:00 [毎週金・土曜日は 20:00 まで]

* 入場受付は閉館の30分前まで

* 開館時間につきましては節電等のため変更となる場合がございます

観覧料 = 一般 1000円 (800円) / 大学生 700円 (560円)

* 小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

* ()内は団体20名以上、および千葉市内在住60歳以上の方の料金

* 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ (7月31日まで)、ローソンチケット (Lコード: 39839)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口 (10月2日まで) にて販売

展覧会概要

千葉市美術館では、「浅川^{たくみ}巧生誕120年記念 浅川^{のりたか}伯教・巧兄弟の心と眼 - 朝鮮時代の美」を開催します。

朝鮮半島の陶磁器や木工品は古来よりわが国に多くの影響を与えてきました。たとえば、桃山時代における茶道や近代の「民藝」運動などのかかわりは大きく、一般的にも知られています。

山梨県に生まれた浅川伯教 (1884-1964) と巧 (1891-1931) の兄弟は、植民地時代 (1910-45) の初期、朝鮮半島に渡りました。彼らは朝鮮家屋に居をかまえ、現地の人々に溶けこみながら暮らします。やがて伯教は朝鮮陶磁研究の第一人者となり、また弟の巧も、朝鮮の陶磁器および木工品について名著を残しました。彼らの活動で特筆されるべき点は、世界に先駆けて“李朝” - 朝鮮時代 (1392-1910) の陶磁器に注目し、その美と向かい合ったことです。

1920年代以降、浅川兄弟の活動によって李朝の陶磁器や工芸品は一躍注目を浴びることになります。ふたりは時代を代表する陶芸家、研究者そして数寄者たちのよき協力者、導き手として朝鮮時代の美術を紹介しました。なかでも、彼らが柳宗悦 (1889-1961) に影響を与え、そこに河井寛次郎 (1890-1966)、濱田庄司 (1894-1978)、富本憲吉 (1886-1963) たちが加わったことによって、「民藝」運動は具体化しています。

残念なことに巧は若くして世を去り、朝鮮から日本に引き揚げてきた伯教も1949年から千葉市内に居を構えますが、時代の変転のなかで調査や研究の成果を十分にまとめることなく歿しました。本展は、朝鮮陶磁の傑作として名高い《青花辰砂蓮花文壺》や《青花窓絵草花文壺》など、浅川兄弟と柳宗悦が選り抜いた旧朝鮮民族美術館のコレクションをはじめ、伯教作の絵画資料や陶芸作品、柳自筆の原稿、そして同時代の陶芸家たちの作品など約200点を通して、今日改めて評価の気運が高まる浅川兄弟の事跡を、はじめて体系的に紹介するところみです。



《青花辰砂蓮花文壺》
朝鮮時代・18世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅英一氏寄贈)



《粉青粉引碗 粉引茶碗
銘「漢芹洞(ミクンドン)」》
朝鮮時代・16世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)
* 銘は浅川伯教が朝鮮を引き揚げるまで暮らしていた町の名前(現・ソウル市内)

関連企画

■ 記念講演会

「浅川兄弟と『李朝』のやきもの」

8月27日(土) 14:00より(13:30開場) 11階講堂にて
講師：片山まび(東京藝術大学美術学部芸術学科准教授)

「近代日本の朝鮮陶磁 —浅川伯教・青山二郎・安宅英一を中心に—」

9月3日(土) 14:00より(13:30開場) 11階講堂にて
講師：森孝一(日本陶磁協会事務局長)

※ いずれも先着150名様 聴講無料

■ 市民美術講座

「昭和陶芸の古典復興」

8月20日(土) 14:00より 11階講堂にて
講師：藁科英也(当館学芸係長)

「棟方志功と民藝運動」

9月17日(土) 14:00より 11階講堂にて
講師：西山純子(当館学芸員)

※ いずれも先着150名様 聴講無料

■ ギャラリートーク

担当学芸員による 8月10日(水) 14:00より、
9月17日(土)、30日(土) 17:00より
ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日(8月10日を除く) 14:00より
※ 水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。



《青花窓絵草花文面取壺》
朝鮮時代・18世紀前半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵
(安宅昭弥氏寄贈)



浅川伯教《黒袖茄子茶入 銘「千草」》個人蔵

同時開催

「棟方・富本・リーチー近代日本の版画を中心に」

会期：8月9日(火)～10月2日(日)

「浅川伯教・巧兄弟の心と眼」展開催にあわせ、当館が所蔵する近代日本の版画作品のなかから、関係する作家と作品をご紹介します。

※ 「浅川伯教・巧兄弟の心と眼」展をご観覧の方は無料

次回展予告

「生誕250年記念展 酒井抱一と江戸琳派の全貌」

10月10日(月・祝)～11月13日(日)

「江戸琳派」様式を確立した酒井抱一(1761-1829)とその門弟らの作品を一堂に会す、待望の大回顧展です。瀟洒な花鳥画など酒井抱一の代表作のほか、若かりし日に描いた浮世絵美人画から仏画や俳画など、琳派の文脈だけではとらえきれない多彩な魅力を、抱一以後ながく命脈を保つ一門の力作ともあわせてご覧ください。



酒井抱一《夏秋草図屏風》右隻
東京国立博物館蔵 重要文化財
Image:TNM Image Archives Source: http://
TnmArchives.jp/

交通案内

千葉市美術館
 〒 260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8
 Tel. 043-221-2311 (代) FAX. 043-221-2316
<http://www.ccma-net.jp>



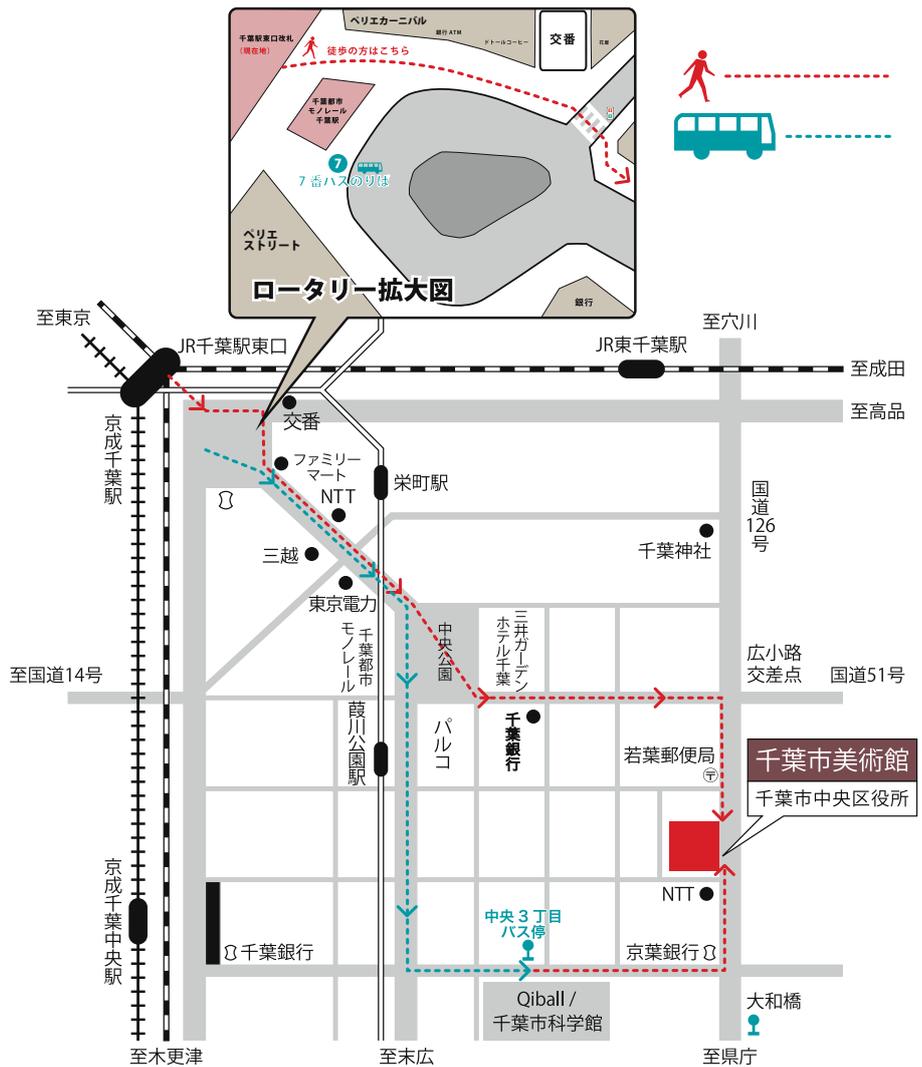
- ◎ JR 千葉駅東口より
 - ・徒歩約 15 分
 - ・バスのりば ⑦ より大学病院行
または南矢作行にて
「中央 3 丁目」下車徒歩約 3 分
 - ・千葉都市モノレール県庁前方面行
「葭川公園駅」下車徒歩約 5 分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚 IC 下車国道 51 号を千葉市街方面へ約 3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約 10 分

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください

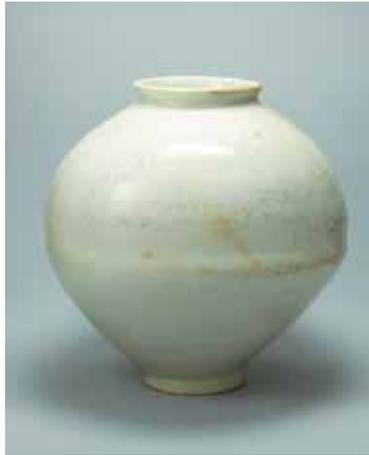


『浅川兄弟の心と眼 — 朝鮮時代の美』展
ご紹介のお願い

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。
ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡下さい。
使用はお申し込みの通り1回限りとし、内容をご了承ください。



1. 《青花辰砂蓮花文壺》
朝鮮時代・18世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅英一氏寄贈)



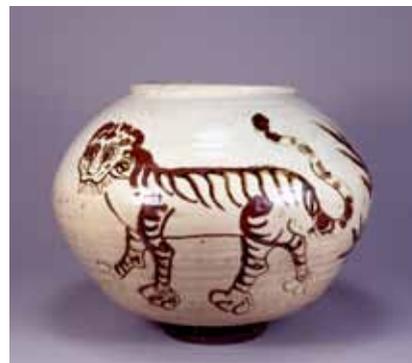
2. 《白磁壺》
朝鮮時代・17世紀後半-18世紀前半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)



3. 《青花鉄砂葡萄文壺》
朝鮮時代・18世紀前半
大和文華館蔵



4. 《青花窓絵草花文面取壺》
朝鮮時代・18世紀前半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅昭弥氏寄贈)



5. 《鉄砂虎鹿文壺》
朝鮮時代・17世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅英一氏寄贈)



6. 浅川伯教《黒釉茄子茶入 銘「千草」》
20世紀前半 個人蔵



7. 《粉青粉引碗 粉引茶碗 銘「漢芹洞」》
朝鮮時代・16世紀後半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)



8. 《粉青刷毛目碗 鶏龍山茶碗 銘「東鶴寺」》
朝鮮時代・15世紀後半-16世紀前半
大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)

『浅川兄弟の心と眼 — 朝鮮時代の美』展 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館
広報担当行
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者：	発行日予定：
ご連絡先電話：	発行部数：
FAX:	定価：
Email:	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：10cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 《青花辰砂蓮花文壺》 朝鮮時代・18世紀後半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅英一氏寄贈)
2. 《白磁壺》 朝鮮時代・17世紀後半-18世紀前半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)
3. 《青花鉄砂葡萄文壺》 朝鮮時代・18世紀前半 大和文華館蔵
4. 《青花窓絵草花文面取壺》 朝鮮時代・18世紀前半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅昭弥氏寄贈)
5. 《鉄砂鹿鹿文壺》 朝鮮時代・17世紀後半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(安宅英一氏寄贈)
6. 《浅川伯教 黒釉茄子茶入 銘「千草」》 20世紀前半 個人蔵
7. 《粉青粉引碗 粉引茶碗 銘「漢芹洞」》 朝鮮時代・16世紀後半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)
8. 《粉青刷毛目碗 鶏籠山茶碗 銘「東鶴寺」》 朝鮮時代・15世紀後半-16世紀前半 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(鈴木正男氏寄贈)

※誌面に限りのある場合は、制作年の「朝鮮時代」、() 内の寄贈者名を省いての記載も可能です。

■ プレゼント用招待券申込

(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5組 10名様 希望します。
(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先
ご住所：〒

問い合わせ先
千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
E-mail : warashina@ccma-net.jp (担当学芸員 薬科英也)
isono@ccma-net.jp (広報担当 磯野 愛)
Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)
Fax. 043-221-2316
HP. <http://www.ccma-net.jp/>